宮坂 優大 田村 洋一郎

株式会社ミガロ.

システム事業部 システム1課

MKS Integrityを利用したシステム開発

統合管理ツール「MKS Integrity」を用いて 進捗管理やドキュメントのコントロールを行い 「生産性の向上・品質向上・コスト削減」に結びつける。

●はじめに ●MKS Integrityのメリット ●MKS Integrityの機能紹介 ●有効機能の紹介~レポート機能 ●最後に



略歴 宮坂 優大 1982年11月19日生れ 2006年近畿大学理工学部卒 2006年04月株式会社ミガロ、入社 2006年04月システム事業部配属

現在の仕事内容 主に Delphi/400 を利用したシス テムの受託開発と MKS サポートを 担当。Delphi および Delphi/400 のスペシャリストを目指している。



略歴 田村洋一郎 1983年9月27日生れ 2006年近畿大学理工工学部卒 2006年04月株式会社ミガロ、入社 2006年04月システム事業部配属

現在の仕事内容

RPG や Delphi/400 などの開発経 験を経て、現在は主に Delphi/400 を利用した受託開発を担う。また、 MKS を利用した開発手法を社内に 広めたり、MKSの技術サポートも 担当している。

1.はじめに

アプリケーション開発を効率よく品質 の高いものにするためには、開発プロセ スと関連ドキュメントを1つのツールで 管理をすることが望ましい。1つのツー ルで統合管理をすることができれば、進 捗管理やドキュメント等のコントロール を高めることができ、結果として「生産 性の向上・品質向上・コスト削減」に結 びつけることができる。

「MKS Integrity」はアプリケーショ ンの資産管理、開発管理、変更管理、要 求管理、保守管理を行い、この問題を解 決する統合管理ツールである。

MKS Integrity は、以下の5つの基 本機能で構成される。【図 1】

- 1. MKS Integrity
- 2. MKS Requirements
- 3. MKS Source
- 4. MKS Test
- 5. MKS Deploy

2.MKS Integrityのメリット

MKS Integrity は、さまざまな人々 へ、多彩なメリットを提供する。

● CIO や経営者のメリット

MKS Integrity は、企業の複雑で多 様化した IT 環境において、最大の生産 性とビジネス価値を導きだせるよう IT 環境全体の統制管理手段を提供してくれ る。この IT 統制管理により、社内の情 報をビジネスゴール (会社の目標) に迅 速に結びつけ、生産性とビジネス価値を 改善させることができる。

また、各々のプロジェクトのリアルタ イムなデータが一覧表示された管理画面 (ダッシュボード)を通して、今後の見 通しや進捗状況、コスト、管理統制状況 を把握して判断をすることができる。

このプロジェクトのデータはすべて開 発現場のものであり、そこでプロジェク トメンバーが入力しているデータをその まま使用しているので、正確かつリアル タイムに状況を確認することができる。 ●プロジェクト管理者のメリット

プロジェクト管理者は、承認された要 件や変更に基づいて「WBS(*1)」を作 成し、管理することができる。もし仮に 変更要件が発生し、設計モデルの変更が 生じても、進行中の各種仕事に影響する 場合は、画面に警告を表示することがで きる。

大規模なプロジェクトでは、プロジェ クト計画ツールやリソース管理ツールか ら WBS やスケジュール表、見積表を MKS Integrity ヘインポートしたり、 他ツールヘエクスポートしたりすること もできる。

さらに、見積をWBS上に取り込むこ ともできる。見積活動の結果から手作業 で作成された資料はときに古いものと なってしまうことが起こるが、MKS Integrityを導入すれば、プロジェクト 運営のために資料を作成しなおす必要は なく、本来の管理そのものに時間を割く ことができる。

●プロジェクトリーダーのメリット プロジェクトリーダーは MKS Integrity を利用することにより、現在の作業内容 とその作業コスト、現在誰が作業のない 状態なのかをリアルタイムで確認し、プ ロジェクトへ技術者を割当てることがで

MKS Integrity により開発プログラ ムのリビジョン管理が自動化されるの で、品質保証に対してメンバー間の協調 をとることができる。その結果、全体の 効率と生産性の向上につながる。

また、ロールバック、リリース再現も 含め、ソフトウェア構成に関する優良な 情報を取得することができる。

●開発者のメリット

きる。

開発者ももちろん、リアルタイムで現 在進行している作業に影響する要件や、 設計の変更等の告知を画面から確認する ことが可能である。

メンバー全員が作業中の画面にアクセ スして要件を確認したり、設計内容やテ スト仕様についてドキュメントを閲覧し たりすることができ、プロジェクト全体 の生産性の向上を図ることができる。

プラットフォーム (*2) に依存せず、 あらゆる開発者が MKS Integrity を通 して作業にアクセスでき、マルチプラッ トフォーム開発に向けたプロセスのメ リットを享受することができる。

その他、以下のようなメリットがある。

- ・開発者が個人ごとに利用できるワーク スペース
- ・パッケージの変更
- ・リリースと履歴管理
- ・並列開発をサポート
- ・互いに競合するプロセスの解決 (ワークファイルの結合)
- ・さまざまな統合開発環境の統合

以上が、プロジェクトのさまざまな立 場の人々から見た、MKS Integrityを 導入した時のメリットである。

次に、MKS Integrity の機能を少し 詳しく紹介する。

*1 WBS (Work Breakdown Structure) WBS は、プロジェクトマネジメントで計画を立 てる際に用いられる手法の1つで、プロジェクト 全体を細かい作業に分割した構成図。「作業分割 構成」「作業分解図」等とも呼ばれる。

*2 プラットフォーム

プラットフォームとは、アプリケーションソフト を動作させる際の基盤となる OS の種類や環境、 設定等のこと。Windows や UNIX、Mac OS は、 それぞれ異なるプラットフォームである。 また、OS にとっては、自らを動作させる基盤と なる PC/AT 互換機、Macintosh などのハード ウェアの種類がプラットフォームである。

3.MKS Integrityの機能紹介

MKS Integrity の基本機能の中から、 MKS Integrity と MKS Source の機能 について紹介をする。

MKS Integrity (プロセス管理)

アプリケーションライフサイクルの全 領域にまたがって存在する各種のプロセ スを、自社のスタイルに合わせて設定で きる。つまり、独自のワークフローを作 成することができる。

この設定されたワークフローを開発 チーム全員が利用することにより、ソフ トウェア開発の全プロセスにおいて標準 化を図ることができ、より完成度の高い 開発体制を作り上げることができる。

● MKS Source(ソース管理)

ソース管理、ソフトウェア構成管理、 リソース管理の各機能を管理する。これ までと同じ開発作業をそのまま行いなが ら、作業内容の登録や履歴管理ができる。

この章では、前述したようにシステム 開発でさまざまなメリットを提供してい る MKS Integrity について、主要な基 本機能である MKS Integrity と MKS Source を利用して、開発プロジェクト の情報や関連ファイルを登録する設定方 法を紹介したいと思う。

3-1.MKS Integrityの機能について

MKS Integrity の設定は、主に MKS Integrity Administration を使って設定 する。

MKS Integrity Administration のメ イン画面は、設定項目がツリー状になっ ており、設定したい項目をクリックする ことで、画面右側にその情報が表示され、 さらにその項目をクリックすることで詳 細を設定することができる。【図 2】

MKSドメインの設定 まずは、MKS Integrity を使用する

ユーザーを、MKS ドメインに設定する。

MKS ドメインにユーザーを追加する 場合は、[MKS ドメイン] → [ユーザー] のツリー部分で右クリックし、ポップ アップメニューから [作成] を選択する。 【図 2 ①】

そうすると、ドメインユーザー作成画 面が表示され、ログイン ID、パスワード、 フルネーム (MKS Integrity 内で表示 される名称)、メールアドレスを登録す ることができる。【図 3】

グループも同様に作成することにな る。グループ作成後、そのグループに割 当てるユーザーを登録する。また、グルー プに権限を付与することも可能である。

②ビューセット分布の設定

前述の、その他メリットに「開発者が 個人ごとに利用できるワークスペース」 を作成できると記述した。このワークス ペースを利用することにより、個人ごと に MKS Integrity の画面レイアウトを 自由にカスタマイズすることができる。

ビューセットの項目で、個人ごとある いはグループごとに基本的な画面項目配 置を設定し、項目の表示・非表示設定等 のレイアウトの設定をする。

③ワークフローの設定

図4をご覧いただきたい。これはプロ ジェクトフェーズ例のワークフローであ る。「ステート」と呼ばれるステータス (「外部設計」や「プログラム開発」など がステータスにあたる)をあらかじめ設 定しておき、GUI 画面上でステートの つながりをドラッグ&ドロップで設定す る。【図 4】

あとは、主担当者や作業予定時間、作 業実績時間などを登録するフィールドを 作成し、ステートごとに表示フィールド から使用したい項目だけを設定すれば、 ワークフローは完成する。【図5】

この作成したワークフローを開発者全 員で使用すれば、ソフトウェア開発プロ セスの標準化を図ることができる。

ステートは、名称やフィールド、権限、 ステート同士のつながりや分岐も自由に 設定することができる。すなわち、自社 のスタイルに合わせて設定できるため、 いろいろな部門を持った会社の管理にも 力を発揮する。

さらに、ステートを移行させる場合に

図1	MKS 構成図	
	MKS Integrity	
	MKO I I I I	
	MKS Integrity (プロセス管理)	
	MKS Requirements MKS Source (更式管理)	
	MKS Test MKS Deploy	
	(テスト管理) (実装配備)	
図2	MKSAdminstrator 画面図	
	i y_miyasaka@MKSServer-7001 (運用環境サーバー)	
	日 □ MKS ドメイン - ● ユーザー ① - ● グループ - ■ グループ	
	- ● クローブル- 日 ● 21 と1-セット分布 - 一 世 と1-セット ● ● ■ 権限	
	日 1 相限 一 例 グローバル 低 ACL 制御 日 1 MiS Interrity	
	- ● ユーザー - 一型 グループ 型 ダイトミック グループ - □ プロジェクト	
	- ジャイ - ジャイ - 極フィールド - 巻 ドガー	
	● 権限 ● MKS Source ● MKS Deploy	
 図3	ユーザー設定画面図	
	MKS ドメイン ユーザーの作成 🛛 📉	
	ログイン ID	
	パスワード	
	パスワードの確認	
	フルネーム	
	電子メール	
	OK キャンセル ヘルプ	

権限を設定することで、各担当者の役割 を厳しく制限することも可能である。例 えば「プログラム開発→結合テスト」の 移行はプログラマー、「結合テスト→テ スト完了」はテスト担当者とし、それ以 外の者がステートの変更を行えなくする ような管理が可能である。

また、ステートの変化に伴い、管理者 にメールで通知することもできる。その 結果、管理者が担当者にステートの変更 をわざわざ確認するといったこともなく なり、管理者はプロジェクトの進捗状況 を把握できるようになる。

④アイテムの作成

個々の作業を[アイテム]として設定 し、アイテム単位で進捗管理を行うこと ができる。

プロジェクトリーダーがプログラマー に対して、プログラムの開発依頼を行う 場合、開発要求を1つのアイテムとして 設定する。

具体的には、プロジェクト名、ステー ト、担当ユーザー、サマリー(要件名)、 開発担当者、開発完了希望日、開発予定 工数等の情報をアイテムに設定する。 ([アイテム] に登録する情報をあらかじ め設定しておくことが必要)。【図 6】

アイテムの設定は自由に行えるため、 プログラム開発といったプログラム単位 で設定することも、外部設計・内部設計 といったフェーズ単位で設定することも 可能である。プロジェクトにアイテムを 登録することで、進捗管理を行っていく のである。

また、アイテムの情報を確認すること で、リアルタイムで稼働状況や進捗状況 を把握することができ、プロジェクトの 現状が非常に把握しやすくなっている。

3-2.MKS Sourceの機能について

MKS Source の基本的な登録内容や 機能を記述する。

①プロジェクト&サンドボックスの登録・関連性について

複数のソース管理が必要な場合、それ ぞれに[プロジェクト]を登録すること で、ソースを任意の単位で管理すること ができる。

また、開発環境でソースがあるフォル ダ (ディレクトリ) に [サンドボックス] を設定し、サーバーに登録した[プロジェ クト]の最新ソースと関連付けて登録す る。

そうすることで、サーバーでは常に最 新環境(プロジェクト)を管理し、開発 環境(サンドボックス)ごとに最新環境 と同期をとりながら開発を行うことがで きる。

②チェックアウト・チェックイン プログラムの修正を行う場合には、 チェックアウトを行う。

チェックアウト中は、他の開発者が同 じプログラムを編集できないようにロッ クをかけることができる。【図 7】

プログラム修正完了後にチェックイン を行うことで、サーバーに最新環境を適 用し、ロックも解除する。また、チェッ クインの際には、チェックインを行った プログラムに関しての特記事項等を情報 として登録することもできる。【図8】

③凍結・解凍

リリースされたプログラムや修正を行 わないプログラムは、凍結を行うことで 修正ができない状態に設定できる。 【図 9】

また、解凍で凍結状態を解除できる。

④ソースの履歴管理

MKS Source で登録を行った履歴は、 すべて記録されており、確認することが できる。

また、ソースの差分情報を単語単位で 認識したり、確認することができる。 【図 10】

3-3.MKS IntegrityとMKS Sourceの 連携について

前述した MKS Integrity と MKS Source の機能を連携して、プロジェクト管理を 行うことができる。

MKS Integrity はプロジェクトの計 画・実績等を管理する機能として設定し、 MKS Source はプログラムのソース(ド キュメント)を管理する機能として設定 する。

この2つを連携することで、プログラ ムが何の計画・実績により作成されたも のなのかを関連付けることができ、結果 としてすべてのソース(ドキュメント) の変更履歴と変更理由を確認することが 可能である。

4.有効機能の紹介 ~レポート機能

MKS Integrity の機能であるレポー ト機能について紹介する。

4-1.レポートについて

アイテムで登録したプロジェクトの予 定・実績情報を参照して、レポートに出 力することができる。設定次第では、プ ロジェクトの進捗状況を把握するための レポートを作成することもできる。

では、続いて、進捗状況を把握するた めのレポートの設定方法と、設定したレ ポートの確認方法を紹介する。

4-2.レポートの設定例 (進捗状況確認レポートの設定)

- MKS Integrity Administration から、MKS Integrityのレポートを選択。【図 11】
- ②次に、メニューの[レポート]→[管理の作成]を選択。【図 12】 すると管理レポートの作成ウィザードが表示されるので、順に設定を行っていく。
- ③タイプの設定:任意のレイアウトのタ イプを指定する。【図 13】
- ここで設定したタイプのレイアウト に、レポートが出力される。
- ④属性の設定:レポートの名前と(データの参照を行う)クエリを指定する。
 【図 14】
- ⑤スタイルの設定:ブラウザや印刷時の 色や文字サイズ、罫線のスタイルを指 定する。【図 15】
- ⑥ロゴの設定:レポートに出力するロゴ
 を任意で指定する。(任意指定項目)。
 【図 16】
- ⑦パラメータの設定:レポートに出力す るタイトルやヘッダー、フッター等を 指定する。【図 17】
- ⑧項目フィールドの設定:レポートで表示するフィールドを指定する。【図
 18】(※)

※指定したクエリが持っているカラムのみ指定可能 なので、表示するフィールドを追加する場合は、ク エリにカラムを追加する必要がある。

以上で、レポートの設定は完了である。



上記のように、レポート機能を利用す ることによって、図 19 のようなプロジェ クトの状況を把握できるレポートを自由 に作成することができる。加えて、レポー トはブラウザで確認することができる。 【図 19】

また、レポート機能以外にも、MKS Integrity にはシステム開発の幅を広げ、 品質を向上させるためのさまざまな機能 が多数あるので、ぜひ活用していただき たい。

5.最後に

以上が、MKS Integrity と MKS Source を利用した場合の、システム開発のメ リットと簡単な機能の紹介である。

ポイントとしては、MKS Integrity では、開発工程をワークフローとして設 定し、要求をアイテムとして登録する。

アイテムごとに開発の予定を設定し、 実績を登録することによって、開発の管 理者はそれぞれの要求(アイテム)がど ういった計画でどういった状況であるか をリアルタイムに確認することができ る。また、MKS Integrity に登録した 情報は変更不可能な情報として蓄積され ていくので、すべての履歴情報を確認す ることもできる。内部統制に対応した ツールといえる。

さらに、アイテム(MKS Integrity の機能)とプログラムソースの作成・変 更情報(MKS Source の機能)を関連 付けることができるため、どの要求(ア イテム)に対してソースを作成(変更) したのかを管理・確認することもできる。 このように MKS Integrity は、煩雑 になりやすいシステムの開発を高品質な システム開発にしていくためのツールで ある。今回紹介した特長や機能以外にも 数多くのさまざまな機能を持っている MKS Integrity の有効な機能を活かし、 より質の高いシステム開発を今後も目指 していきたい。

Μ



図11	レポート指定図	
	Integrity MKS Integrity ユーザー	
	・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	
	└───━━━━━━━━━━━━━━━━━━━━━━━━━━━━━━━━━━	
図12	管理の作成設定図	
	₩KS Integrity Client - 管理	
	ファイル(E) レポート ツール(II) ウィンドウ(W) ヘルプ(H)	
	実行 Ctrl+R 管理の作成 Insert	
 W 1 0	ケノプの弐中回	
 区13	ダイブの設定凶	
	試 管理レポート ウィザード	
	病性 レポートのタイプを選択します。 2,29イル これによって、レポートの基本的な構造とレイアクトが決定されます。 ・ ロゴ ・ これによって、レポートの基本的な構造とレイアクトが決定されます。	
	・ 項目フィールド 日 ③ グループ □ ● フィールド計算 ■ ● ★ 55% 2	
	 ・サーク・アイテム フィールド はこのルボードには、アイテムの一覧が呼吸出でで表示されます。 ・覧は 2 つのアイテム フィールドでグループ化され、アイテム グループの合計が表示されます。 ・ ・ ・	
	Basic - HTML, Column, Two Groupings, Field Compute	
	データングラムフィールド 注このログトにイナインの一覧が呼吸まで表示されます。 一覧は 2 つのアイテムフィールドでグループ社営れ、フィールド グループ社営を 各利の一番下に遺加することができます。	
	Basic - HTML, Column, Two Groupings, Group Compute	
	データ・アイテム フィールド 注このルボードには、アイテムの一覧が呼吸形式で表示されます。 一覧は 2 つのアイテム フィールドでラループ化され、グループ計畫を追加できます。	
	* (

<image/>	図14 属性の診	。 2定図	
	_		
	-		
<pre>duit useduration:</pre>	_	● タイプ ● 回回 ● この回 ● スタイル ● スタイル ● この回	
<pre>Site of the set o</pre>	_		
Image: Distance of the second seco	_	→● 共有 クエリ(2): (* テクニカルレポート) (注明(2): 注明(2): 名前:1小-1の名前登録定します。	
	-	シュン・パパーにもいか、ヨシンジを加えてき。 ※クエリで参照できるアイテム情報がパポードに表示されるアイテム情報になります。 名前とウエリル外の項目は任意で指定する項目になります。	
		✓ レポートの実行特にサーバーのレポート タイプとスタイルを使用する(1) ✓ 管理者 ① □ 24月25日 / 242101 / 241	
Image: State of the state		〈戻3@〉 (次00〉 (フレヒュー) 先7(f) (キャンセル) ヘルブ00	
Image: State 1			
XIS XYTWORKEN XIS XYTWORKEN Image: State of the st			
Image: State and the state		2010年1月11日1日11日11日11日11日11日11日11日11日11日11日11日	
Image: State of the state		窗 管理レポートウィザード	
Image: State of the state			
111日日日日日日日日日日日日日日日日日日日日日日日日日日日日日日日日日日			
Image: State Sta		テキストの色: テキストの色: テーブルの野線の色: テーブルの野線の色:	
図16 ロゴの設定図 でまたを・1 かいりード 「日本の設定図		テーブルの見出しの色: テーブルの見出しの色: テーブルの見出しの色: テーブルの行の色: テーブルの行の色: アーブルの行の色: アーブルの行の色:	
12gt 11gt 10gt 84 12gt 11gt 10gt 84 12gt 11gt 10gt 84 12gt 11gt 10gt 84 12gt 11gt 10gt 84 1 12gt 11gt 84 1 12gt 11gt 84 1 12gt 84 <td></td> <td>7ォントサイズ: 16pt 15pt 14pt フォントサイズ: 16pt 15pt 14pt</td> <td></td>		7ォントサイズ: 16pt 15pt 14pt フォントサイズ: 16pt 15pt 14pt	
(BBQ) (1392) 7년2- 第722 (1425) 図16 ロゴの設定図		12pt 11pt 10pt 9pt テーブルの罫線 テーブルの罫線:	
図16 ロゴの設定図 「************************************		((夏3個) (次位) ブレビュー 売了() (キャンセル ヘルブ位)	
図16 ロゴの設定図		$\sim \gamma$	_
図16 ロゴの設定図			
留 笠鹿 U ホート クリダービ ● ● 507 □152歳形(はす。 ● 705 - 30.04 □152歳形(はす。 ● 705 - 30.04 □152歳形(しま) ● 705 - 30.04 □152歳形(立) ● 705 - 30.04 □152歳形(つ) ● 705 - 30.04 □152歳形(つ) ● 705 - 30.04 □152歳形(つ) ● 705 - 30.04 ■ ● 705 - 30.04 ■ ● 705 - 30.04 ■ ● 705 - 30.04 ■ ● 705 - 30.04 ■ ● 705 - 30.04 ■ ● 705 - 30.04 ■ ● 705 - 30.04 ■ ● 705 - 30.04 ■ ● 705 - 30.04 ■ ● 705 - 30.04 ■ ● 705 - 30.04 ■ ● 705 - 30.04 ■ ● 705 - 30.04 ■ ● 705 - 30.04 ■ ● 705 - 30.04 ■ ● 705 - 30.04 ■ ● 700 - 30.04 ■	図16 ロゴの討	定図	_
第日レホート ウッグ - F 「 ● ウイ - F 第1 ● 第1 ごも選択します。 ● 第1 ごも選択します。 ● 第10 ごも選択します。 ● 第10 ごの選択型 = Kanolauae if ● 第11 ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ●			_
P 研注 C 201/h C	-	福 管理レポート ウィザード	
● パワン・2 ・ ボロン(-ルド ● 生べ替え ● 未有 - (メージ - (メージ) - (メージ - (メージ) - (メージ - (メージ) - (スージ) - (スー) -	_	 ライン ● 房住 □ 1を選択します。 ● 2001 ○ たき (注意) ○ (注意)<!--</td--><td></td>	
		 ● パラメータ ● 項目フィールド ● 基<階段 □ゴの選択(S) mizero_logo.g.if ● 共有 イメージ 	
		wiel Di	
(原る(型)) 次(型)) ブレビュー 充了(空) キャンセル へルブ(ピ)			
(原3個) 次知> ブルビュー 完了(5) キャンセル ヘルブ(4)	-		-
	-	< 戻る(型) 次(型)> ブルビュー 充了(E) キャンセル へルブ(ビ)	
	-		

7 パラメータの設定図					
読 笹茸レポート ウィザード □● タイプ ■● 原性	10-1 44	3 +1 -7 - 8 - 9			×
- 754/h - 01 - 1/5x-5	バカメータを ここで入力	・ヘブしくいたさい。 した値は、選択した場所のレポート	こ挿入されます。		4 5
● 項目フィールド 日-131 グループ ● フィールド計算	レポートゥ レポート ^	イトル テクニカルレポート ッダー			
● 壶べ替え ● 共有	1.44-6-				
	1010 - 1- J				
	グループ 1 グループ 2	計算見出し 総計 計算見出し 小計			
		+‡;			
		0			
L			〈戻る⑭〉 次⑭〉 ブレ	ゼュー)[完了(5)	**>211 AN700
ᄚᇦᇰᇻᆙᆌᆄᅘ	1				
項日ノイールト設定区	l				
読 管理レポート ウィザード ● タイブ					×
 ● 居住 ● スタイル ● ロゴ 	レポーH2 これらは、	表示する項目フィールドを選択しま クエリ結果に対して表示されるフィー	:す。 -ルドです。		
	-1/#-	10フィールド タイプ			
	×	サマリー ステート 開発完了希望日			
●履歴		開発予定工数(時間) 開発完了日 開発実工数(時間)			
	計算力	ч~л/к			
	-21	î 式	表示 	司物ーン	<u>追加(D)</u> 編集(E) 副(BA(R)
			4		
			戻る囚) 次処 > ブビ	1- 完了任)	+v:211 (11/20)
レポートイメージ図					
		テクー		k	
MIGAKU		, , <u> </u>			00 100 110
開発担当者:					08/08/12
タイプ	サマリース	テー 開発完了希望日	開発予定工数 (時間)	開発完了日	開発実工数 (時間)
	/배양국가 노크고:	7-7-	< -12 Head 7		
103-21-					
<mark>ブロジェクト</mark> Delphi 開発タ マク	受注照会画面 終了	09/08/12	15.00	09/08/12	12.00
<mark>プロジェクト</mark> = Delphi 開発タ スク Delphi 開発タ スク	受注照会画面 終了 開発 受注入力開発 除了	09/08/12	15.00	09/08/12	12.00
<mark>プロジェクト</mark> = Delphi 開発タ スク Delphi 開発タ スク Delphi 開発タ スク	受注照会画面 終了 熨注取会画面 終了 受注入力開発 除了 得意先検索 終了	09/08/12 09/08/12 09/08/12	15.00 15.00 5.00	09/08/12 09/08/12 09/08/12	12.00 18.00 5.00
<mark>ブロジェクト</mark> = Delphi 開発タ スク Delphi 開発タ スク Delphi 開発タ スク	受注照会画面 終了 開発 受注入力開発 受注入力開発 除了 得意先検索 終了	09/08/12 09/08/12 09/08/12	15.00 15.00 5.00 予定工發計 35.00	09/08/12 09/08/12 09/08/12	12.00 18.00 5.00 実工数計 35.00
プロジェクト = Delphi 開発タ スク Delphi 開発タ スク Delphi 開発タ スク 担当者計:	受注照会画面 終了 開発 受注入力開発 受注入力開発 除了 得意先検索 終了	09/08/12 09/08/12 09/08/12	15.00 15.00 5.00 予定工發計 35.00	09/08/12 09/08/12 09/08/12	12.00 18.00 5.00 実工教計 35.00